

きいん組だより

ドキドキ

今月のねらいは、“生活や遊びの中で、互いの良さを認めながら、友達とのつながりを深め、意欲的に過ごす”でした。友達と一緒に《いいところミッケの木》を作る子ども達の様子をご覧ください。 R7・3・26（水）佐藤 菜摘



頑張ったことは何ですか？



心のノートに書いておかなかっちゃん！



3月に入ると、あともうちょっとで卒園かぁ・・・と、別れの寂しさを感じている様子が多く見られました。その一方で、友達との絆を深めようと仲良かかわる姿もさらに増えてきた子ども達。この日は、みんなで、一年をふり返る時間を楽しみました。年長児がインタビュアーとなり、頑張ったことや楽しかったことなどインタビューし、お互いの頑張りを認め、思い出をふり返り、楽しい時間となりました。

翌日、保育士が「この一年間、先生はみんなのいいところをたくさん見つけることが目標でした。先生は数えきれないくらい、みんなのいいところを見つけてきたけど、友達のいいところ見つけた子いるかな？」と聞いてみると、全員が手を挙げてくれました。いいところをもっと見つけられたら、「心のノートに書いておいてね」と伝え、いいところをもっともっと見つける日々が始まりました。

木の大きさはどのくらいかな？鉛筆で描いてみよう！



《～いいところミッケの木を作ろう～》

この辺に貼ろうかな…



いい感じだね！すごく立派な木に見える～！



子ども達は、友達の良いところをしっかり心のノートに書き留めていたようです。「～ちゃんと、一緒にそりに乗ってずっとかけて面白かったな～」とか「～くんみたいにもっと縄跳びができるようになりたいな」など、思い出を振り返りながら、書いていました。いいところミッケの木の活動を通し、お互いの良さを認め合い、友達の大切さに改めて気づくことができました。卒園・進級しても、友達に見つけてもらった良さを大切に、自分らしく歩んでほしいと思っています。



すごい集中力！

一年間 ありがとうございます。